



政府統計

報道関係者 各位

令和元年5月15日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 佐藤 恵治
室長補佐 佐々木 和之 (内線 7473)
室長補佐 柏木 貴久子 (内線 7494)
(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2321

第8回「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を公表します

厚生労働省では、このたび、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の第8回（平成30年）の結果を取りまとめましたので、公表します。

21世紀出生児縦断調査は、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査と平成22年に出生した子の比較対照等を行うことにより、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査時点での子どもの年齢は、8歳（小学2年生）です。

【調査結果のポイント】

1 母の就業状況の変化

- ・母が有職の割合は第8回調査（小学2年生）で72.1%となり、平成13年出生児（第8回）の60.5%に比べて11.6ポイント高い（3頁 図1）
- ・出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第8回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では38.7%で、平成13年出生児の27.5%に比べて11.2ポイント高い（4頁 図2）

2 子どもの生活の状況

(1) 携帯電話（スマートフォンを含む）

小学2年生に携帯電話（スマートフォンを含む）を持たせている割合は17.9%と、平成13年出生児の6.3%に比べて11.6ポイント高く、持たせた時期は、「小学1年生から」が68.8%と最も高い（5頁 表1）

(2) 学校以外での1日の勉強時間

母の家庭学習への関わりが「よくある」方が家庭での学習時間が長い（6頁 図5）

(3) 読書習慣

本（文庫・単行本など）を多く読む母・父の子どもは、本（児童書、絵本など）を読む冊数が多い（8頁 図7-1、図7-2）

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。